

水無月のうおずみにさわやかな風。異世代間で学びの応酬がここに



▲皆様の前でひとごあいさつ(6/4)

▼異世代交流(6丁目にて。6/6)

梅雨が来る前に、猛暑となる前に、うおずみにさわやかな風が吹きました。

6月の恒例となった「トライやるウィーク」。6/2～6の間、2名の生徒さんに学習していただきました。前半はデイサービス、後半は6丁目で。あん巻きやクレープづくりのイベントに参加してもらったり、レクリエーションを盛り上げてもらったりして、利用者の皆様はヤングパワーを存分に注入できたようです。ともに剣道部で鍛える中学2年生。獣医やUSJのクルーを目指して学業に励んでいるとのこと。5日間の感想を尋ねると「楽しい」と即答。曾祖父母の年代といえる利用者の方々も嬉しい「ひ孫」の来訪に頬は緩みっ放し。生徒さんたち、大きく羽ばたいて下さい。サンキュー！



生徒さんに
焼いてもらった
あん巻きを
いただきます



うおずみ長寿番付
新横綱誕生



「男の人に負けなかった」とよく教えて下さるのは3丁目・改發近子様。豊かになる前の我が国で、農業や飲食業に勤しんだ感慨が込められているようにうかがえます。そんな改發様が5月31日、百歳のお誕生日を迎えました。いつも温和なその表情からは、重ねて来られた歳月の重みが伝わるようです。これで、うおずみ長寿番付は4横綱(百寿超)。これからも当施設の歩みに、その個性で彩りを加えていって下さい。おめでとうございます！



祝
百寿



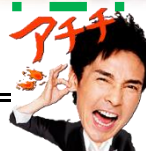
餡、あん、an…とっても大好き大判焼き！

とにかくうまい

つぶあん、こしあん、つぶしあん、小倉あん…さあ、貴方はどれを選びますか？

前回小紙でレポートしたデイサービスのイベントでは「今川焼」か「大判焼きか」という呼称にフォーカスしましたが、去る5月9(金)・10(土)日に開催したおやつレクでは、うおずみ厨房自慢の餡をたっぷり味わってみることにしましょう。

朝夕と日中の寒暖差が大きくなり、鉄板に火を灯すと汗ばむほどの会場に「おいしい！」「アチチ」の声が飛び交います。そのお口の中に頬張っているものは？つぶあんかこしあんか…写真を見て想像してみてください。



厨房だより うまか〜！西郷どんも惚れた九州郷土料理をたもいやんせ

うんまか〜



地元ご出身の方が多く生活されていますが、九州育ちの方も多いうおずみです。5月23日(金)のランチは鹿児島県のつけ揚げと宮崎の湯なます、大分の鶏めしを。

まず、つけ揚げは一見鶏の唐揚げのようですが、一口頬張るととろけるやわらかさ。湯なますは、千切り大根と筒切りにしたイワシを煮て醤油・酢等で調味しました。そして、親戚が集まる席や祭などの場に欠かせない鶏めし。ここでは、うおずみ流にアレンジした味自慢。九州ご出身のお二人のお顔でご想像あれ！



梅雨に美味しい献立

- 6/16 《父の日》 散らし寿司他
- 6/21 《ご当地・山形県》 米沢ラーメン他
- 6/25 《散らし寿司の日》
- 7/7 《恒例の七夕そうめん》
- 7月日未定 《万博出展国スペシャル》
- インドネシア料理・ナシゴレン他
- 7月日未定 《ご当地・沖縄県》
- タコライス他



恋文が成就！ギターLIVEは、まさに GoldenTimes

5月23日は「ラブレターの日」だそうです。うおずみから、昨年9月にギターLIVEを開催下さった金時様



へ恋文(5・2・3)をしたためると、二つ返事でOKとのこと。今回は、この日がお誕生日という奥様のオカリナが全編に加わった半年ぶりのLIVEに恋心が成就しました。

「ふるさと」等のドメスティック童謡から「サリーガーデン」というアイルランド民謡まで、グローバルな曲たちを時にチューニングを変えトークも交えて、皆様を魅了されました。この再会の実現は、感染なくお元気でいらした皆様と金時様のボランティア精神の賜物。双方の頑張りとお心意に、感謝・感激です。ありがとうございます。



苗字を英訳した「ゴールデン・タイムズ」を、デュオ名としました

お知らせ

◇食費について・・・開設以来初めて食費を変更させていただきましたこととなりました。1日¥1,500→¥1,800です。昨今の食材費高騰のためです。減免を受けておられる方はこの限りではありません。ご理解賜りますようお願い致します。

◇介護保険負担限度額認定証の更新について・・・この認定証をお持ちの方は、更新通知が届いたら忘れず申請をお願いします。明石市の方に6/13頃更新通知が届きます。

◇高齢重度障害者医療費受給者証の更新について・・・7月から有効となる受給者証が6月下旬に届きます。対象の方は事務所へお預け下さい。

◇散髪日・・・6/20(金)、7/18(金)、8/15(金)

編集後記

施設の敷地で除草作業中、1羽のツバメが舞い降りて来ました。草刈り機の轟音に怯むことなく、私に近づいたり離れたたり。「雨に唄えば」のジーン・ケリーのようにダンスしているではありませんか。間違ってもツバメを切ってしまうよう向きを変えながら作業を進めます。その流れは、まるで「ここ掘れワンワン」と導く「花咲かじいさん」のポチのよう。微笑ましく草刈りがはかどりました。数日後別の場所で草刈りを始めると、またそのツバメが。縁(燕)があります。



お母さん ありがとう

▲母の日の贈り物を手に



デイサービスにて